

会計情報及びサステナビリティ情報の開示と保証の研究

研究分野: 会計学、監査論、サステナビリティ情報の開示と保証

キーワード: ゴーイング・コンサーン、財務諸表の信頼性、EER(ESGレポート、サステナビリティ情報及び統合報告等)、人権DD(デュー・ディリジェンス)、現代奴隷法

貢献できるSDGsの区分:



経営学部 経営学科 准教授 坂根 純輝

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/sakane/>

研究概要

○上場企業(又は大会社)の経営者は企業の事業活動の存続可能性を評価し、監査人は企業の事業活動の存続可能性に対する経営者の評価結果を監査している。これらのGC(ゴーイング・コンサーン、すなわち継続企業の前提のことである。)に関する評価結果及び監査結果は有価証券報告書によって報告される。GC情報と経営分析指標を用いた統計分析を実施している。

○サステナビリティ情報の開示と保証に関する研究に取り組んできた。

○全国の金融機関にアンケートを取り、税理士が中小企業の決算書の信頼性を高め、金融機関の融資に資するという研究をしてきた。

○最近では、現代奴隷法や人権DDで開示される情報の保証業務について研究した。

産学連携の可能性(アピールポイント)

○会計やサステナビリティ情報に関する連携が可能です。

外部との連携実績等

○科学研究費補助金(基盤研究C:21K01792)、科学研究費補助金(基盤研究C: 20K02058)及び科学研究費補助金(若手研究:19K13875)等の研究に従事した。中小企業会計学会 課題研究委員会(中小企業財務報告の透明性改善に向けた多面的研究) 委員、日本監査研究学会 課題別研究部会(サステナビリティ情報と会計・保証・ガバナンスの展開) 委員、日本監査研究学会 課題別研究部会(地方自治体の監査基準に関する分析と検証) 委員、中小企業会計学会研究担当幹事および長崎県佐世保市行政不服審査会会長として活動した。